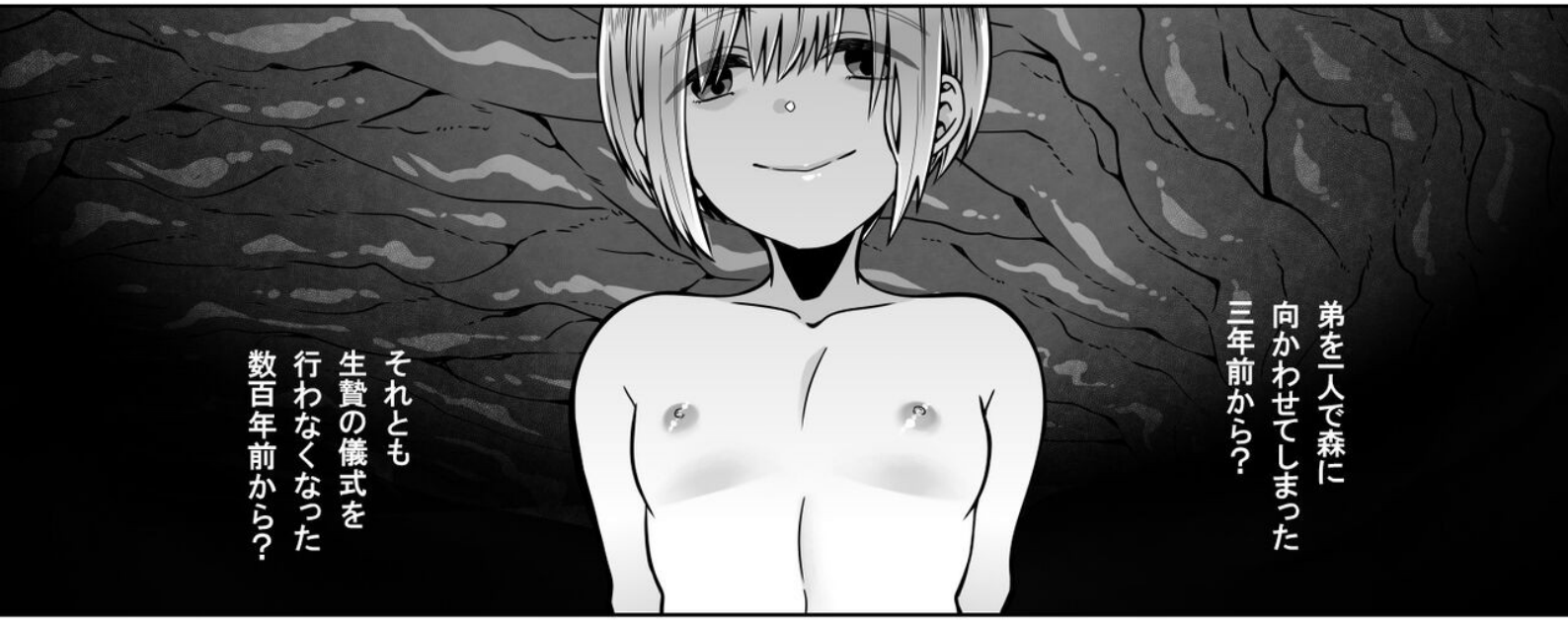

R18
FOR
ADULT
ONLY
贄の森II
NIE NO MORI






奥に深く
突き上げられる
度に
尊厳を失って
いくような
果てる度に
記憶が弾けて
消えるような
そんな地獄を
何日も何日も
繰り返している


どこで
間違った?
原因は
何だった?
はぁ
はぁ
はぁ


弟を一人で森に
向かわせてしまった
三年前から?
それとも
生贄の儀式を
行わなくなった
数百年前から?

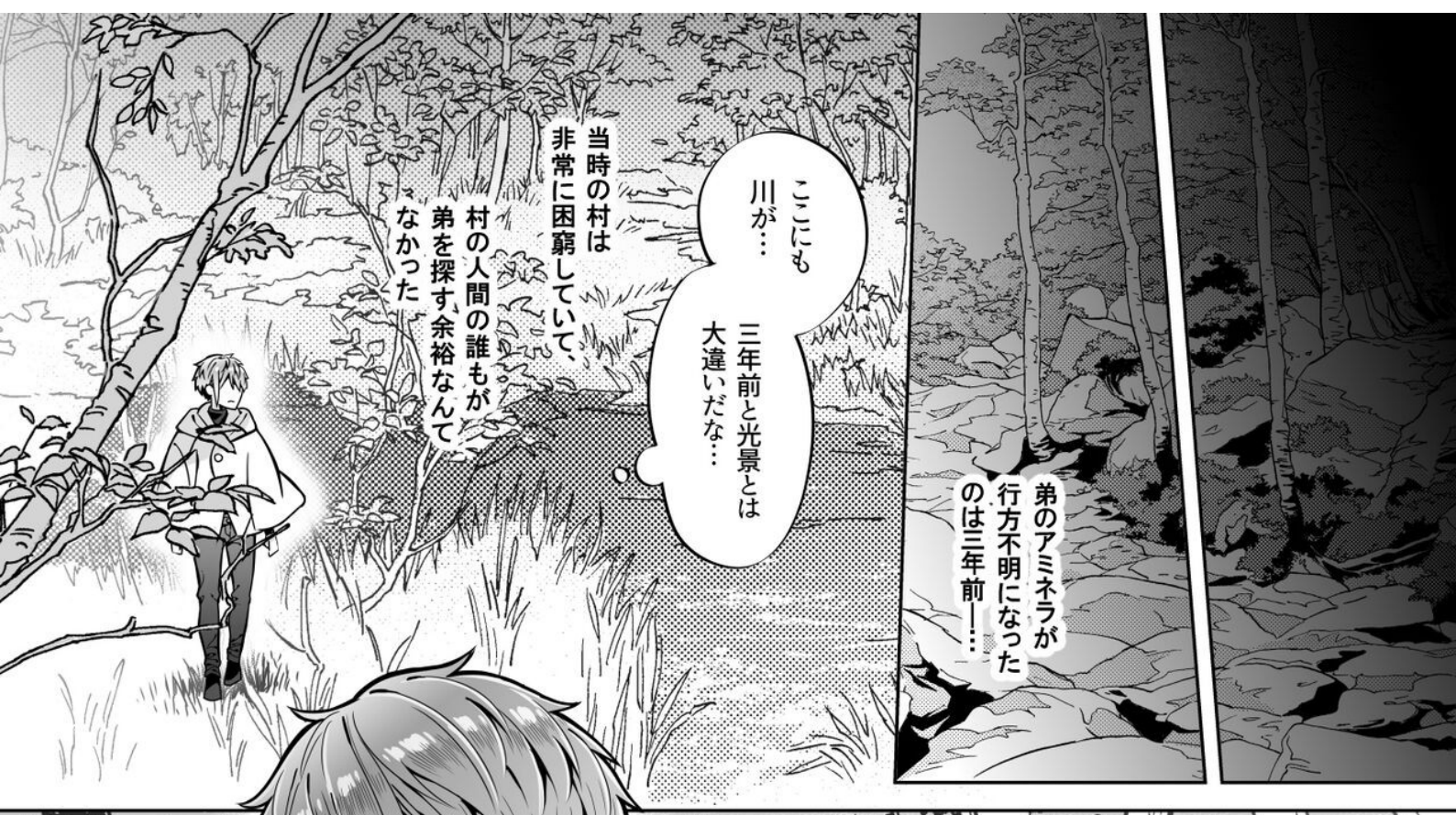

は
はぁ
はぁ
はぁ
それでも…
どうか弟だけは、
俺の
憐れな弟だけは
いつの日か
救われます
ように…

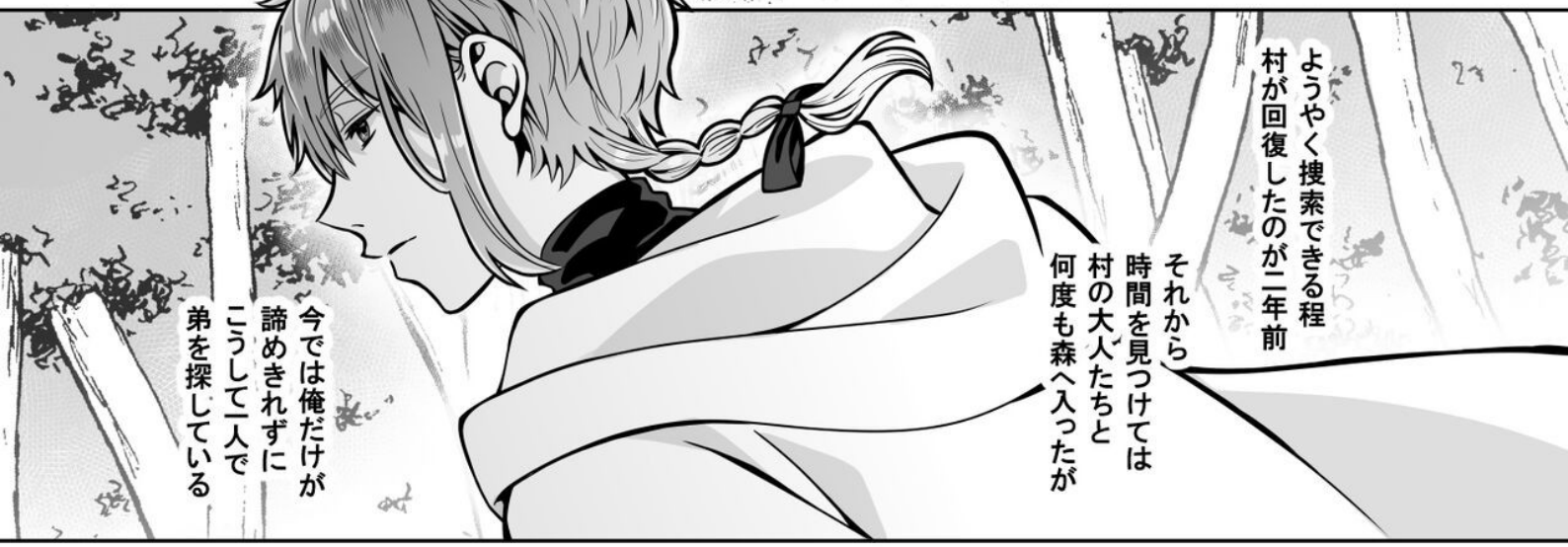

おはようございます！
おはようございます
おはようございます
あ！
おはようございますヨーリスさん
おはようございます
森の方へ
にこ
今日は午前中休息の許可が出たので
あぁ、おはようヨーリス
どこへ行くんだい？
……
…あんた
もしかして弟さんを探しに行くつもりかい？
え…
気の毒だと思ってるよ
でももう三年だろう…？
いい加減諦めちゃどうだい…？
あはは
いやだなぁ散歩ですよ
ついでに調査もしてきます
きゃはは…
獣が戻ってきてるなら昔のように狩りが出来るかもしれません


それならいいけど…
でも今日ぐらい体を
休めてはどうだい？
昨日は婚約の準備
やらで一日中バタバタ
してたじゃないか
いいえ、
俺は全然
ヨーリス～～!!
ほおら
噂をすれば
二人とも
おはよう！
アルビーナ
おはよう
昨日はよく
眠れた？
いいえ！
貴方と式を挙げる
日が待ち遠しくて
最近寝不足よ
きゃ♡
いいえ、
そんな事
よりも


森の方へ
今からどちらへ
行かれるおつもり
なの？
今日くらい
ゆっくり休んで
ちょうだい！
体を壊して
しまうわ
こりゃ良い
おしどり夫婦に
なりそうだ


すまない
アルビーナ
昼食頃には
戻るから
分かったわ…
昼食は私の家へ
寄ってちょうだい
貴方の好物作って
待っているから
ありがとう
そうさせて
もらうよ


弟のアミネラが
行方不明になった
のは三年前…
ここにも
川が…
三年前と光景とは
大違いだな…
当時の村は
非常に困窮していて、
村の人間の誰もが
弟を探す余裕なんて
なかった


ようやく捜索できる程
村が回復したのが二年前
それから
時間を見つけては
村の大人たちと
何度も森へ入ったが
今では俺だけが
諦めきれずに
こうして一人で
弟を探している


…でもそれも
そろそろ潮時かも
しれないな…
随分と深い所
まで来てしまった
あ、
あの
洞窟…
…は、既に
何度も
探したな
短い通路で
奥には何もない、
不気味な
洞窟だった
アミネラが
行方不明になる日に
言っていたな…
昔の村の行事に
使われていたと


もう少し
話をちゃんと
聞いてあげれば
良かった…
…ん？
入口に何か
いる…？
はッ
アミー…？
……
フイ
あっ…
……!!
あの姿、
ダッ
似てる…
弟に…!!
ビシャ


空気が変わったような…
前来た時と雰囲気が違う…？
こんなに…長い通路だったか…？
ニャリッ
ザワッ…
…!?
何だ今…
ズズ…
!!
ッ……?!
なんだコイツ…!!


こっ
こちらから
危害を加える
つもりはない…
向こうの壁まで
離れたら俺もここから
出ていくと約束しよう
ビッ
う…ッ
ギュッ
ズイッ
は、
離れろ！
！
ズズッ
こいつ人間に似た
形をしているが…
妖怪？…神？
？
ポリポリ
おい…
俺の言ってる
意味が分かるか？
ぱっきり…
ダイッ
！わっ
あ…ッ
？？
サ～…
！
おい―…
パキーン
ベキッ
パキ


安心してください、兄さん
その子は安全ですよ
!!
アミネラ
…え？
三年前と同じ姿…？
お久しぶりですヨーリス兄さん
大きく…なりましたね
変な洞窟にいる巨人と弟…？
情報量が多いな…
？
？
えっと…アミー…？
こいつの正体知ってるのか？
はい
僕の子供です
は？
あぁそうだ
まず兄さんをここへ招いた理由をお伝えしますね
ふぎゅ
わっ!!


い～…
ビクッ
うわッ!!
な、何だよ
こいつ…!
さっきから―
その子は
突然変異で
産まれた子
三年前、
この森の主様は
まだ本調子で
なかったので…
そのような人型寄りの
木霊がごく稀に
誕生したんです
と言っても能力は
他の子供たちと
変わりありません
ただ少し
だけ、
性欲が強くて
『お嫁さん』が
必要なんです
生殖能力は
ありませんが
可愛い我が子の
為になんとか
してあげたくて、
?
?
?
だから兄さんが
一人でここへ
来てくれるのを
僕たち
ずーっと待って
いたんですよ


ここまで
言えば…
兄さんは
大人なんだし
分かりますよね？
!!えっ
は？
え？
な、
ちょ、
えっ？
何を…
やめ——…!!
なに…
まさか
兄さん
大丈夫です
怖がらないで
上手にできるよう
僕がこの子に教えながら
やってみますから
兄さんも少し
協力してくださいね
まさかこいつ
今から…
俺を犯すつもり
なのか…?!


まずはちんちんを触ってみて
優しくだよ
にゅるっ
やめ…
ヒッ…
にゅる にゅる にゅる
ツプ
デデ
その穴から中に入って…
うん 上手上手
あッ…
ぬぷぷぷ
ビクン
あっ…
はぁ…
あぁッ…
なにッ…中、入っ、ぁ
はぁッ
はぁッ
はぁ…
くちゅ
くちゅ
くちゅ
兄さん力抜いてください
もう一本の触手で乳首いじってあげますね
兄さんて確か許嫁いましたよね
アルビーナ様でしたっけ？
ぎゃ～ッ
こういった経験はお済ですか？
あッ
ぐりぐりぐりッ
なッ
そ、
んな、コトッ…
すみません僕ったら不躾な質問
カァッ
はッ
はッ
～～～
お
コリッ
コリッ
コリッ
あ
あッ
久々の再会につい嬉しくなっちゃって


手一本空いてる？
お尻に指を入れて
みてごらん
入れたら前後に
動かして中を
ほぐすんだよ
は?!
何言って…
やめろ
触るな…ッ
そこ
そこよ
ぶー…
ぶー…
ぶー…
う…
気持ち悪い
気持ち悪いッ…
早くッ…早く
終わってくれ…
ガクガクッ
ぐぷぷ～～～…
ビクッ
ズクズクズクッ
あッ
あッ
ちゅくちゅく
ちゅくッ
ゴリッ
ゴリッ
中に膨らんだ
しこりが
あるでしょ？
そこトントン
してみて
ビグッ
ちゅこッ
ちゅこッ
ちゅこッ
?!
ビッ
あはっ
気持ち良い
でしょう？


ちんちんの触手も
同じとこトントン
してあげてね～
おっ
おお!
そこダメッ
おぁあ!
やッ
もっと気持ち
良くなるから
やぁッ
ヂュぢゅ
ゴリッ
ゴリッ
ヒッ
ヒッ
ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュルルッ
ビュルルッ
イッ
グゥ～～
カッ
カッ


ぬぽっ♡
うん！
上手に
できたね
ヒクッ
ヒクッ
兄さんもお尻は初めて
なのに上手にイけて
えらいです！
初めて…
ですよね？
あはは
はぁ…
はぁ…
はぁ♡
はぁ…ッ
兄さんも才能
あるみたいで
嬉しいな♡
それじゃあ
次は本番


ゲイッ
ヒッ!?
ま、待て！
待ってくれ!!
クチュッ
？どうしましたか
こ、こんなの…おかしいだろだ、だって…だって…
何が
おと、男犯したりとか…
だから…
あぁそんなこと
問題ありません
女性が適任だと仰りたいのです？
そしたら兄さんはアルビーナ様でも差し出すおつもりなんですか？
くぱぁ
そ、そんな訳…ッ
あ、あ…
待って…
待ってまって
弱音なんて兄さんらしくないですよ
ぴくぴくぴくぴく


ズクッ
ズクッ
おぉ
おぉぉ
おぉ
ポポポ
ガクッ
ガクッ
ビクッ
チガイヤッ
ハッ
ハッ
ハッ
止めて…ッ
痛ッ…!!
いッ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
プルッ
プルン
ブルン
ヌチッ
ヌチッ
ヌチッ
大丈夫ですよ
兄さん
力を抜いて
身を任せていれば
すぐ気持ちよく
なれるんですから




いいよ♥
兄さんの中にピュッピュしちゃって
あ…
えっ
待つ…
中やだッ
やめッ
どちゅ
どちゅ
どちゅ


おッ♡ ごぉッ♡
おッ♡ おぉ～♡
ビュー
ビクッ ビクッ ビクッ
ビュルビュル ビュルビュル
ビュッ ビュッ
おほッ♡ おッ♡
ビュルルルッ
ガクガクッ
わっ 兄さんも一緒にイっちゃいました？
おッ♡ おッ♡
ぎちッ…
ガクガク
真面目な兄さんのこんな姿―
村の人が見たらさぞ驚くでしょうね♡



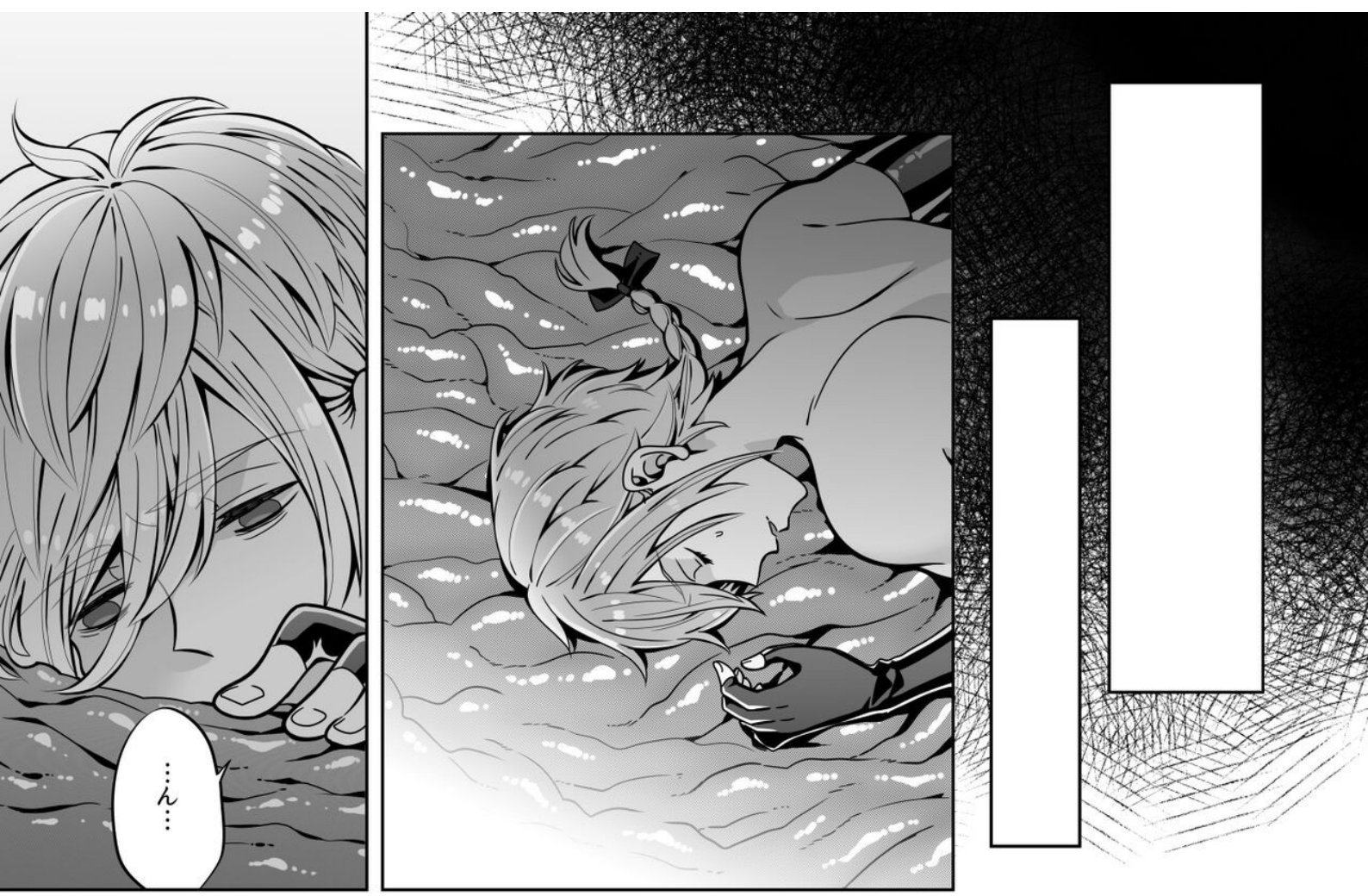
母さんは
今日の薬は忘れず
飲んだだろうか

昼から父さんと
村の収穫物を
調査して…

……

あぁ、その前に

アルビーナと
一緒に昼食を…！…


…ん…


なんだ
ここ…
薄暗い…
アミーと巨人は
どこに行った…？


クラッ
あぁ
頭が痛い
吐きそうだ


とにかく…ここは一旦
村へ帰らないと――…
？
声が
聞こえる
この声…


ぬる…
ヌチャ
ヌチャッ
ぬるッ…
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ


ちゃぽッ
ちゃぽッ
あ♡
主様
そこッ…♡
ちゃぽッ
ちゃぽッ
ちゃぽッ
おっ♡
あ♡
そこもっと
ゴリゴリ
してぇ…♡
はぁッ♡
はッ
はッ♡
あッ
はッ♡
ぷるッ
そろそろ出すぞ
腰を高く突き出せ
はいい♡
ドチュドチュ
ドチュドチュ
卵♡いっぱい
くだひゃい♡
赤ちゃんのお部屋
準備できてまひゅ♡
よし
良い子だ
ズンッ
ブビュルルルルッ!!
ズブブブ
あッ♡
もっとッ
僕のお腹
赤ちゃんで
いっぱいにしてッ♡
赤ちゃん♡
きてりゅ♡
ぶぉ♡
ぶぉ
ぶぉ
ぶぉ~~♡
ビクビク


な…!?
なんだ…？
あれは一体…
今回も
上出来だ
お前を選んで
正解だった
あッ
はッ
あッ
うぞ…
うぞ…
うぞ…
ゴプ
ゴプ
ぷっ
ぷるるッ
あッ
もっと赤ちゃん
欲しい…♡
主様ッ♡
すきっ♡
好き…ッ♡
あッ
あッ
はッ
はッ
は


感謝の証に村は
生贄を差し出し
主様の子を孕み
産んできました
でも長い歳月で
それを行う
人間は現れなく
なったんです
だから僕が
その役を
つとめることに
したんです♡
はぁ♡
はぁ…♡
僕が産めばそれだけ
森は豊かになって
村の回復にも繋がります
僕もやっと
村の役に立って
嬉しいです
え
あ…
ガクガク
……あれ？
その顔、理解できて
いないようですね
うーん…
望んで協力して
欲しかったんですが
…まぁ
いいです
事情は先ほど
説明しましたので…
ビクッ
兄さんも早速
主様のお役に
立ってくださいよ♡


グイッ
やだ、やだ…っ
やめろ…!!
気持ち
悪…
ヒッ!?
ぱっ
ガシッ
!?
ぎゅううう～…
?
?
?
え?
なんで
…?
手が
勝手に…
あぁ、兄さんに
主様からの
贈り物ですよ
その衣装の中に
主様の一部が
入っています
ヌル…ッ
ニュル…
ヒッ…
その触手たちが
兄さんの体を
動かして――
上手に交尾が
できるよう手助け
してくれるんですよ
…は?!
なに…
それ…ッ
ぬぢゅッ
ぢゅろ
ぢゅぷ
兄さんが途中で
気をやっても
これで安心ですね♥


い、嫌だッ
誰がっ
そんな
真似…!!
……
くそッ!
くそくそ
くそッ…
抵抗は、
ビクッ
しない方がいいと
お伝えしましたね
……
何で俺が
こんな事…
じゅぷッ…
でもこれが
済んだら…
こいつ等の
気が済めば
村へ帰れる…
かもしれない
ぢゅぷッ…
ぢゅる…
ぢゅぷッ…
あぉ…
んぐ…
そしたら…
ガッ
?
あはは、兄さん
考え事してる場合
じゃありませんよ~♪
コプッ
?!
ぐ~ッ!
んぐぐッ!!
じゅぷッ


ヴ!!
ヴ!!
ヴ!!


こんな連中にっ…
道具みたいに
使われて…ッ


良い嫁を
見つけてきてくれたようだな
はい♡




早くっ…
逃げないと…
このままじゃ…
壊れるぅ…っ!!


じゃあ僕と主様は少し休んできますので
兄さんあとは頑張ってくださいね
待っ…
い、いやだ…!!
たすけて…ッ
ふふっ…いい顔ですね


ビュルルルルッ
中に出されるの気持ちいいでしょ♡
あッ…あ～…♡
あひッ♡
ビグッビクッ
ビュッ
ちょろろろ…
ボッ
ボッ
それじゃあしっかり子供たちに可愛がってもらってくださいね♡
まって…
まって
アミー
心配しないでください
たまには様子見にきますよ
いやだ…
アミー
たすけて…

来週か来月か…
お腹の子達が
産まれたら必ず♡

数か月後ー

あの…

聞いても
いいですか
主様

何をだ

僕の体、三年前から
成長していない気が
するのですが…

うん？
当たり前だな
ワシが止めて
いるのだからな

やっぱり…

年を取り、
産むのが困難な体に
なられては困る

人間の寿命など
瞬く間だ

ここにいる間は
その姿で過ごして
もらうぞ

まぁ
ワシの寿命も
永遠ではない

いずれお前を
解放してやる時は
必ず訪れる

安心しろ


それって兄さんの体もですか？
あぁそうだな
お前にとっても子にとってもさせたいだろう？
…はい！
ありがとうございます
これからも主様が僕を必要としてくれるまで…
兄と二人、ずっとお側にいます
…その兄はしっかり務めを果たしているのか？
ご安心ください！
あの子たちもとても気に入ってて―
毎日夢中で遊んでいますよ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ズプッ
ズプッ
あっ♡
はっ♡
イク♡


はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
だめ
もッ…
やッ
ちんぽヤバッ
ちゅぽッ
ちゅぽッ
ちゅぽッ
ちゅぽッ
ちゅぽッ
ブルッ
プルッ
ちゅぽッ
あッ
おッ
じゅぽッ
ズポッ
ぬちッ
ぬちッ
ぬちッ
んぁ
あっ
あれから…
はぁ
じゅるッ…
ちゅぱ
あッ
どれほどの時間が
経ったんだろう…
はぁ
は…


毎日休む暇なく犯され続けて…!
ボッ
ドボッ
まって まだ
ちょっと待ってまって…
まだイッてるからッ
ぱちんっ
ぱちんっ
一体…こんな日が
いつまで…続くんだ…っ
ないっ
ゴカ
ぉ
も、もぅ


ムクッ…
はぁ…はぁ…
お…お…
はぁミッ
はぁミッ
お♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ


ヒュグッ♡
ぷしゃるるッ♡
ぷしゃ♡
ぷしゃ♡
ぷしゃ♡
はぁ…♡
はぁ…♡
…絶対に…ッ
はぁ…♡
諦めたり…
するもんか


あっ…♡
主様…♡
まだッ…♡
産まれて♡
きもちい…♡
ぶぴゅ

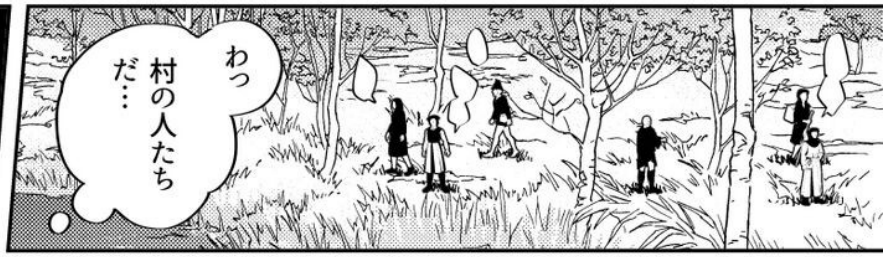

今回も大量に
産んでくれて
感謝するぞ
森の回復も予想を
上回る速さだ
あ…♥
ありがとう
ございますッ…


このところ、
出産が続いて
疲れただろう
しばらく体を
休めると良い
……
…ねぇ
主様
良ければ…
僕の村を少し
覗いてきたい
のですが…


村？
はい
久々に様子を
見たくなって…
家族のことも
気になるし
そうか…
好きに
するといい
ぱぁ…
やった♡
ありがとう
ございます
主様



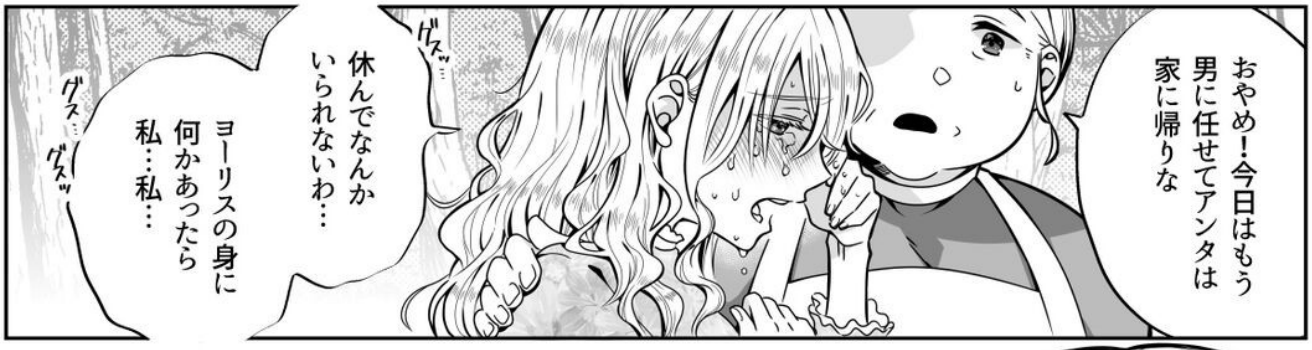

見つからないよう
注意しなきゃ…


わっ
村の人たち
だ…


ひょっとして
兄さんを探してる…？
もう諦めちゃえば
いいのに…


…久々だな
母さん達元気かな
!!誰かいる
元気お出しアルビーナ
しかし兄弟揃ってどこへ行ってしまったのかねぇ

……アルビーナ…？確か兄さんの許嫁の一…
毎日大人が手分けして探しても上着一枚見つからないなんて…
おばさん私…やっぱりもう一度探しに行って―


おやめ！今日はもう男に任せてアンタは家に帰りな
休んでなんかいられないわ…
ヨーリスの身に何かあったら私…私…
グスッ
グスッ


…さぁさぁそんな調子だとアンタが先に身体を壊しちまうよ
自慢の髪もこんなに荒れて…
ヨーリスが帰ってきてその姿を見たらきっと心配するさね
おばさん…
……
グスッ


…兄さんにも土産話をしたいので少し会ってからそちらへ向かいます
うむ
主様…戻りました
？浮かぬ顔をしておるな…どうした
ごめんなさいちょっと疲れちゃったみたいで…
村はさらに豊かな土地になっていました
流行り病も去った様です
全て主様のおかげです感謝します
あ
おっ
あっ
ガク
ガクッ
ぴゅ
ぴゅっ


皆ちょっと休憩してて
僕、兄さんに話があるの
ごめんね すぐ済むから待っててね
仕事がすっかり板に付いてきましたね 兄さん
僕、さっき村の近くまで行ってきました 皆とても元気そうでしたよ
そうそう、偶然アルビーナ様にお会いしたんです
彼女、妊娠していましたよ 大きなお腹、愛しそうに撫でていました


兄さんがここへ来てもう一年ですからね
僕たちを探しにくる人も今は全然いないし、
アルビーナ様も村の人達も誰も…僕らのこと覚えちゃいないようです
……うそ…
…嘘だ…
信じたくないのは分かりますが事実です
嘘だ…
アルビーナが…
ふるふる
兄さん
いやだ…
アミー…
嘘だと言ってくれ…
兄さん安心して
僕たちがいますから
ここならどんな兄さんでも愛してもらえます
もう村の為に必死で働かなくて良いんですよ
だから忘れてしまいましょう
ね？
そうだ♥久々に兄さんが抱かれてる様子を見学させてくださいよ
快楽に悶える姿が見たいんです


わぁ～
すごい！
兄さん
聞こえてます？
グチョグチョ
すごい♡
下品な音♡
すっかり
ちんちん大好きに
なりましたね♡
穴がめくれそうな程
吸い付いてますよ♡
子供たちが夢中に
なるわけです♡
あは♡
突かれる度に
ここがヒクヒク
してる♡
たくさん出して
いいですよ～♡
もう使いません
からね♡
また
出た♡
やっ、…め
…て…ッ
えぇ～…もっと
兄さんの下品な姿を
見せてくださいよ♡


連続イキした
ちんちん
おいしそう…♡
ぱくっ
やっ…！
それ
ダメ…!!
ほら
ほら♡
もっとイッて
くだひゃい♡
ちゅうう～～…
ぐッ…♡
出る…
出るッ♡
ダメなのに
またくるッ…
大きいの
きちゃう…ッ!!


!!
ビュルルル!!
ビクッビクッ
ちゅぽっ
ふうっ♡
ちゅぱ
うぅう
おッ…おッ
キュウウ
はぁ
はぁッ
はぁ…ッ
ピュルッ
兄さんのお腹
精子でぱんぱん…♡
孕みそうな程
濃いのタップリ
出してもらって
良かったですね♡
ぷっ…♡


ふふ♡
間違って
妊娠して
しまったら…
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
一緒に育て
ましょうね♡

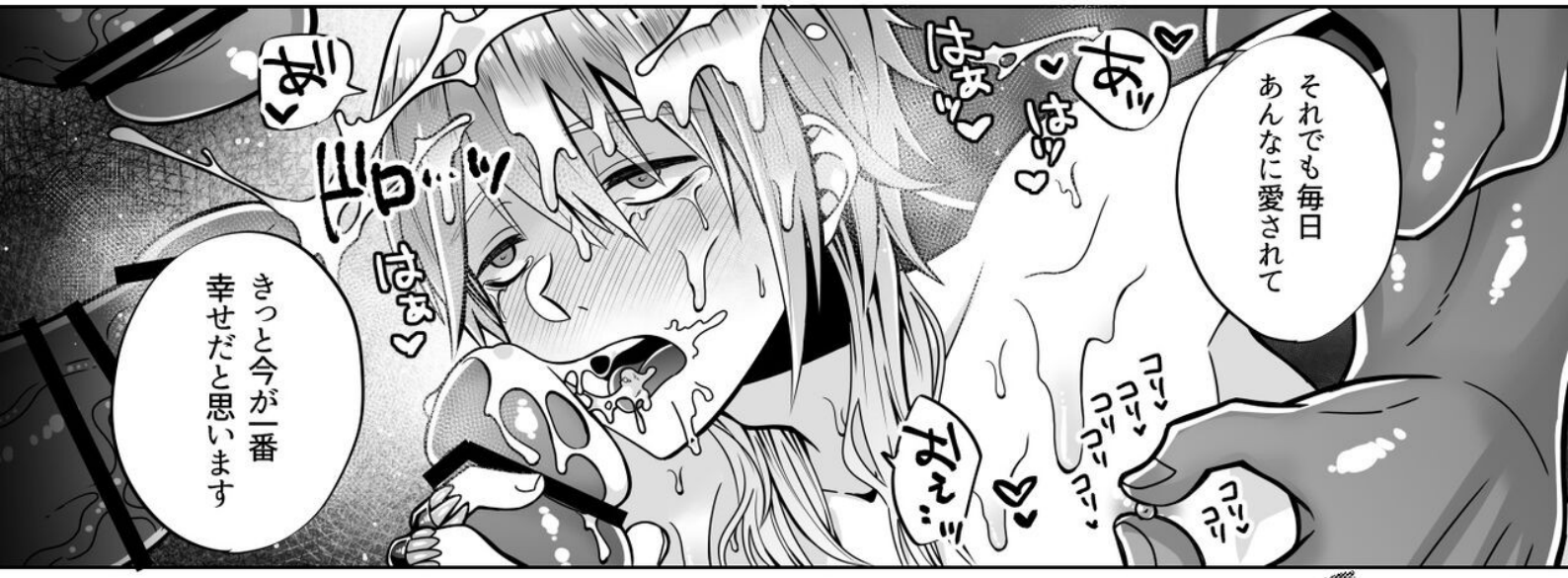

…あれは最近
大人しいな


兄は昔から
そうでした
真面目で
頑固で、
とても
家族思い
なんです


あぁ…
そうですね
お嫁さんの自覚が
出てきたようです
ならば
よい
しかしお前と
違って強情な
人間だったな


だから兄さんなら
僕を探していずれ祠まで
現れると信じていました
そしてその時は
僕が兄さんを
救ってあげたいと
貧しい村の
次の長として
小さい頃から
周囲の期待に応えようと
必死に努力していた
兄さんをその
重荷から解放して
あげたかった
だから
主様には
本当に感謝
しているんです
村を救い、
僕たち兄弟を
ここへ迎え入れて
くれた事を…——
おかげで今の兄さん、
すごく幸せそう♡
ぱちゅ
ぱちゅん
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぉぉ
ぉぉ
ゴプッ
ゴポ…

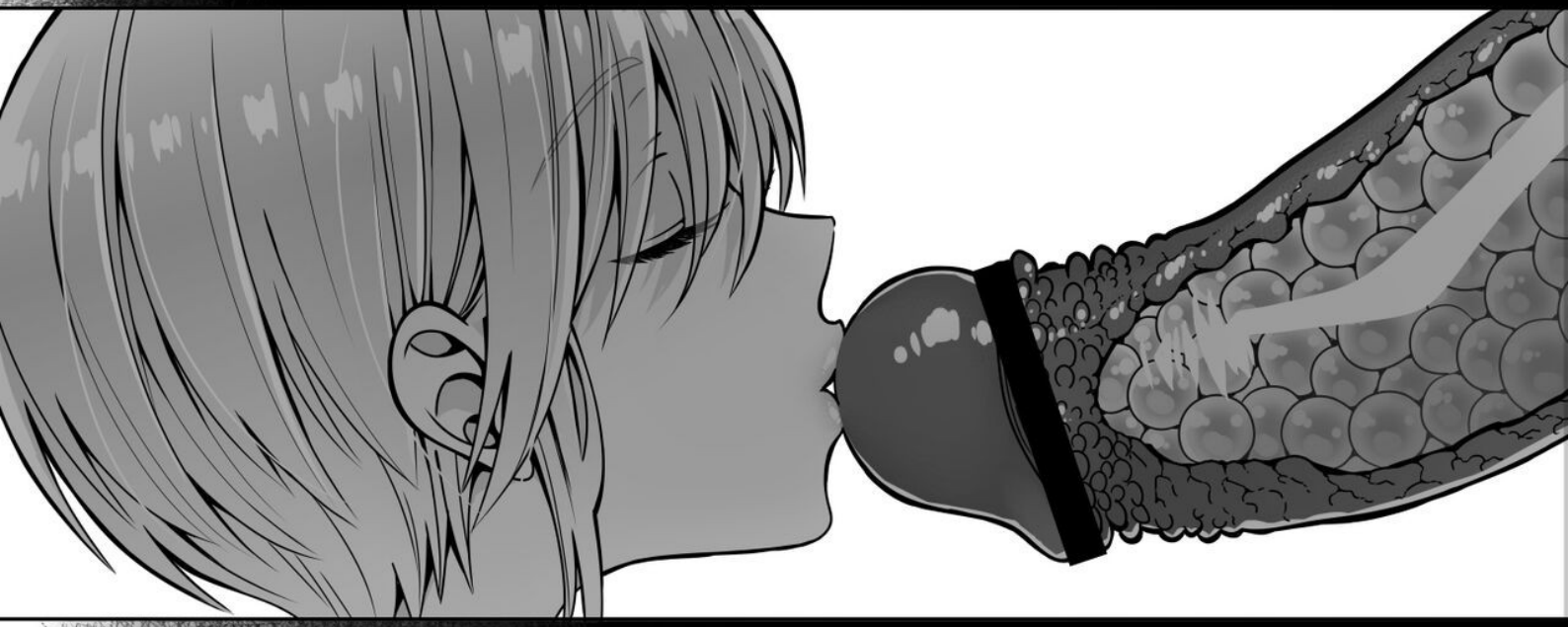

…ただ、あれから
兄さん返事も反応も
しなくなっちゃって…
自分が何をされて
いるかすら分かって
いない様子なんです
自分が誰だかも
忘れちゃったの
かもしれません
パン！
パン！
パン！
パン！


それでも毎日
あんなに愛されて
きっと今が一番
幸せだと思います
あっ
はぁ
コリッ
コリッ
コリッ
コリッ
コリッ
コリッ
おぇっ


そうか…
ワシには人間の幸の
定義なぞ分からぬよ
おはは
そうですか
…主様
僕にとっての幸せは
主様の子をこれからも
孕み続けることです
それと愛する主様と、
子供たちと兄さん…
共に生きてゆくことです

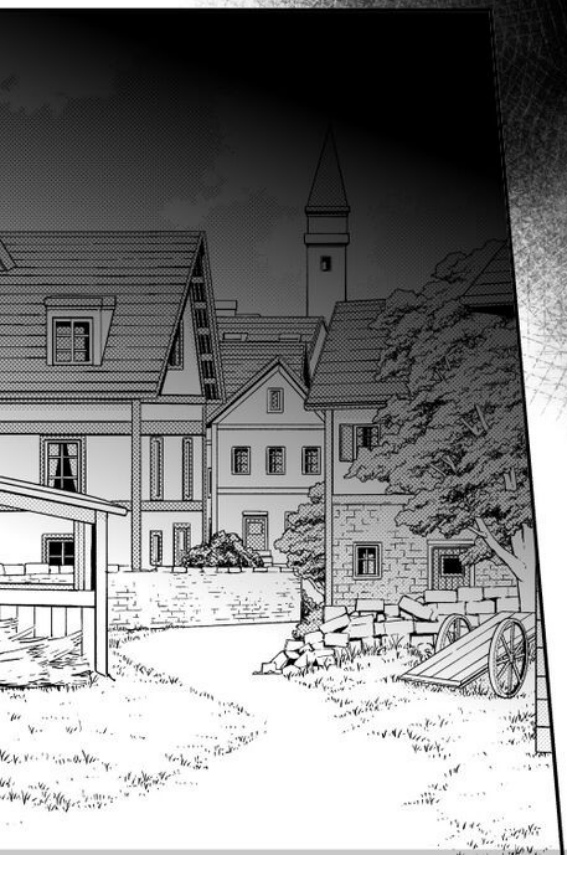
どうか、

叶えて
ください



主様が望む
時までずっと…

お役に立って
みせますから――




おはようございます
おはよー
あ
じいちゃーん！
やーっぱここにいた
じいちゃんいつもここにいんね
あのさ～
じいちゃんも今日の集会来てくんない？
まだ俺一人じゃ無理だと思う～
父さん今は別件だし
お前か…丁度良い話がある
…えー？でも～…
集会は後で構わん
隣に来い
……



これは曾祖父の兄二人を偲んで建てられた碑だ

ここは当時…今より小さく、土地は荒れ果てた貧しい村だった




だがな…
その後、
土地は豊かになり
森にも川や獣が
戻ってきたのだ
だから村人達は
こう思うことにした
森の神が二人を
連れ去り…
代わりに村に平和を
授けたのだと…
！


今の村はその兄弟の
犠牲があってこそだと
信じる年寄りは多い…
今の話、
信じろとは言わんが
この手の話題が出たら
軽はずみな発言は慎め
お前が村の長になる
前に…この話だけは
伝えておきたかった


あの森には
誰も近付くな
この掟だけは村に
残しておくようにと…
先代からの願いだ


何が言いたいか
分かるな？


え～…
でもその話
ほんと？
行方不明になった
上の兄はお前と
同い年だったそうだ

集会には後で寄ると
言って、じーちゃんは
一度家に帰っていった

俺はしばらく
そこに残って、
消えた二人の
兄弟のことを
考えていた

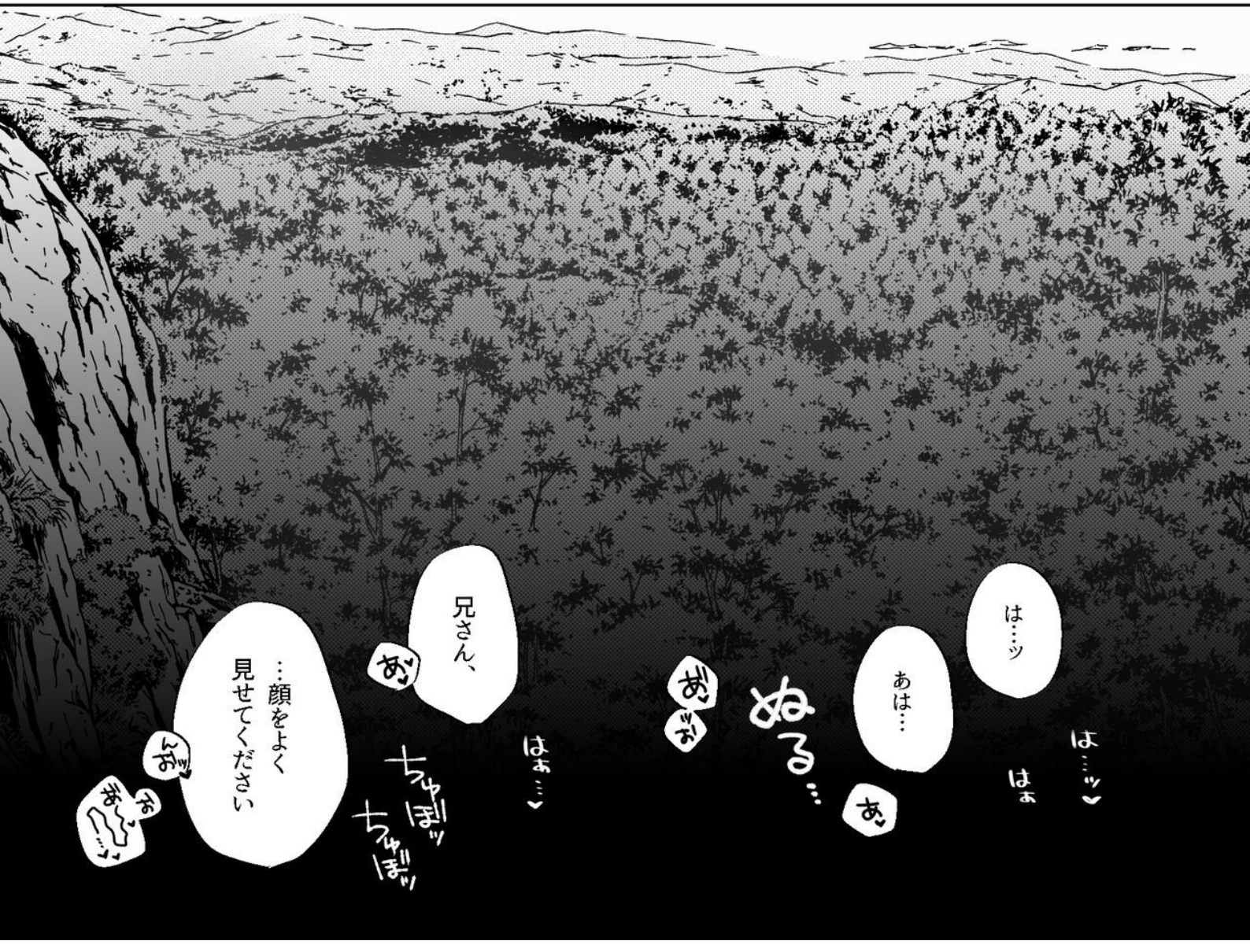
村のすぐ外にある森に
一人で入ってはいけない
というのは絶対の掟で、
「掟を破ると森の神様に
さらわれてしまうぞ」と
聞かされて育った

聖域のような、
禁足地のような
不思議な森に

その兄弟が本当に
存在したのなら、

あの森に
名付けられた由来
にも納得ができた


ざく
あぃ…
贄の森
…か


は…ッ
はぁ
あは…
あ
ぬる…
あッ
はぁ…
兄さん、
あ
ちゃぽッ
ちゃぽッ
…顔をよく
見せてください
ん
お
あ…


口開けて…
ふふっ…♥
お上手です
はぁ
はぁ
ちゅぱ…
ちゅ…♥
兄さん可愛い…♥
はぁ
あぁ…♥
ん…♥
はぁ♥
はぁぁ♥
はッ♥
はッ♥
はッ♥
あ
あ…
ビビッ
ビビッ♥
これからも…
ずっと一緒ですよ
ビクッ
ビクッ
ビクッ…ッ
何十年
何百年先だって…♥
END

あとがき

初めまして。夏ジャムです。
この度は「贄の森II」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
応援してくださるかたに支えられ、無事に2作目を発表することができました。
続き物ということで、若干心配もありましたが それでもご購入いただいたかた、
ここまでお読みいただいたかた、本当にありがとうございます。

前作の終わり方がスッキリしていた分、今回は色々詰め込みすぎてしまい その結果
描ききれなかった部分もありましたが それ以上の「好き」を詰め込みました。

楽しんでいただけたなら幸いです。

TWITTER:Natsu_jaM_
PIXIV:76675996

2022 May 夏ジャム



前作のあらすじ

貧しい村に住む一人の少年は、
祖父の書斎で昔この村で行われていた
生贄の儀式の存在を知る。
村の困窮化を救う手掛かりになるかもしれないと
考えた少年は、儀式に使われていた
森の奥の祠へと訪れた。

祠の奥にいたのは触手の外見をした森の主。
そこで少年は、生贄の子達は森の命である木霊を孕むことで
森とその周辺の平和は保たれていたことを知り、
自身が生贄となって森の主の子供を孕み
産み続けることを決意する。

最初は森の主に恐れていた少年も
徐々に快楽へ溺れてゆき、
行為を喜んで受け入れるようになった。

今作はそれから、三年後の話――…



ヨーリス

今作の主人公。
アミネラの兄。
真面目で家族思いの少年。
婚約者がいる。



アミネラ

前作の主人公。
三年前に森の主に見初められ、
それからずっと主の子を孕み
産み続けている。